

平成20年度学校課題価実施報告

確かな学力の向上(学習指導)

評価基準 A できた(思う) B ややできた(やや思う) C ややできない(やや思わない) D できない(思わない) ※該当箇所に○印をしてください。

目 標	評価項目	自己評価(学校)				計 (A+B)%	学校関係者評価				計
		A	B	C	D		A	B	C	D	
<ul style="list-style-type: none"> ・教科目標を意識した授業の展開 ・分かる授業、できる授業 ・学習意欲を高めるきめ細やかな少人数指導、T.T指導 ・学びの内容、評価の目安(シラバス)の配布・課題設定、 ・課題解決に結びつく総合的な学習や選択教科の充実 ・各教科、外部指導者を招いての授業研究の実施 	①授業の課題が明確であり、学ぶ内容が分かった	11	6	1	0	18	12	60	5	0	77
		61.1%	33.3%	5.6%	0.0%	94.4%	15.6%	77.9%	6.5%	0.0%	93.5%
	②板書、プリント等を使い授業に工夫がみられた	8	11	0	0	19	13	63	2	0	78
		42.1%	57.9%	0.0%	0.0%	100.0%	16.7%	80.8%	2.6%	0.0%	97.4%
	③授業は分かりやすくなったと言っている授業に意欲的に取り組んだ	2	15	3	0	20	2	60	17	1	80
		10.0%	75.0%	15.0%	0.0%	85.0%	2.5%	75.0%	21.3%	1.3%	77.5%
	④家庭学習に決まった時間に取り組んでいる家庭学習に定期的に取り組んだ	2	9	8	0	19	9	25	38	5	77
		10.5%	47.4%	42.1%	0.0%	57.9%	11.7%	32.5%	49.4%	6.5%	44.2%
	⑤年度当初に配布された学習案内は役に立っているシラバスは保護者にとって役に立っている	1	9	8	0	18	6	35	34	2	77
		5.6%	50.0%	44.4%	0.0%	55.6%	7.8%	45.5%	44.2%	2.6%	53.2%
	⑥総合学習等の体験学習は役に立っている総合学習などの体験的な学習は役に立った	6	12	1	0	19	28	48	3	0	79
		31.6%	63.2%	5.3%	0.0%	94.7%	35.4%	60.8%	3.8%	0.0%	96.2%
	⑦通知表は学習状況を知る内容である	5	13	0	0	18	34	42	3	0	79
		60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%	43.0%	53.2%	3.8%	0.0%	96.2%
		達成度				83.97%	達成度				79.89%

<p>記述から</p>	<p>・家庭学習のための宿題を学校で間に合わせにしている。学年メンバーが忙しく、段取りも悪いので話し合い、決定するまで、いつも不安定である。・二極化が増大している中、達成困難な生徒達への援助方法を検討する余地があると思う。・シラバスは学習内容の案内と同時に、授業の受け方、家庭学習の仕方があると、平均以上の生徒達が救われると思う。・家庭学習については、定期的に宿題を出して、定着するような形をとっていないのでCとした。・シラバスはもう少し簡潔なものがわかりやすくして良いと思う。・数学の穴埋プリントを使ってしまうと自分で証明問題を書き出すことができないので、プリントはせめてグラフの作成時ぐらいに止めておく方が良い。</p>
<p>意見提言</p>	<p>授業内容に関しては、見る機会がなくよく分かりませんが、仕事柄他校の中学生・高校生に接する機会が多く、プリントの多さに驚かされます。年間分を持ち歩いている生徒もおり、その厚さは尋常ではありあせん。プリントができればノートを取る必要がなくなります。ノートを取ることで記憶が定着するのではないかと思います。ノートを取って憶えるという授業は昔のことなんでしょうか。・教科によっては、補助員(ボランティアでも可)1~2人はいったらレベル別での指導ができるのでは!？。・公立高校入試の新制度に伴い、保護者への情報提供や生徒への指導等、正確で速やかな対応を望みます。・家庭学習は必要であり、習慣となる状況が望まれるが、自分の子どもにテストの採点をさせている先生がいるという話を聞きました。どの程度なのか。1度だけだったのか詳しいことは分かりません。でも本当のことだったら残念です。・今現在、どんな学習をしているか、私は把握できていませんが(授業参観で分かる範囲で)先生方は、忙しい日々の中、生徒に分かりやすい授業を目指して努力していると感じています。家庭学習をしている様子はあまり感じられません。・目標と取組は大変ありがたい内容だと思います。結果を出すことの難しさ、小学校から中学校への学習の指導内容に大きく変化があるので、連携を取りながら一人一人に目を向けることが大事なのだと卒業する今気づいています。せいで意欲的に取り組めるよう工夫して下さる先生方が多いと思いますが、親が授業を見ても内容が理解できない、工夫がないと思う先生がいらっしゃいます。・同じ教科間の先生で授業内容等について話し合いがもっとできるといいのではないのでしょうか…と思いました。(子どもから聞いた話ですが、先生によっての違いが、テスト問題に影響しているようです。)・放課後の補習事業というのは時間的に無理なのでしょうか。解らなかったことについて解らないから教えてほしいという子どもたちが聞きに行ける雰囲気、場所、時間があれば学力アップにつながるのではと思うのですが。・先生の中には、よく「キレル」方がいるようで、迷惑している生徒もいる。先生がそれでは困ります。・数学や英語は、改善策にもあるように少人数指導をしていただきたい。・授業の工夫や分かりやすさは先生によって違いがあると思います。・今年度二度授業参観をさせていただきましたが、先生の意図していることを生徒が理解する前に先に進んでしまっているように思いました。もう少し生徒の様子を見ながら進めていくとよいのでは。・数学は先生が変わってから進め方が早くついていけないようです。塾で理解しています。</p> <p>・二極化は(特に数学で)小学校から始まっているのではないかと思います。その対策は、小中の学びの連携を図る必要がある。・極端に進度の遅い教科があり三年の入試に間に合わないのではないかと心配した。大げさだがそれによって人生が左右される生徒もいる。・まず、静かに先生の話が聞ける環境がほしいです。・自習の日が多いようです。自習時に見てくださる先生の担当科目の授業をしていただくとか、体育でしたら合同とか、少ない授業時間を有効に活用していただけられないでしょうか。あまりにも、自習だったと聞く事が多く思われます。・授業中にプリントを書かせることも多いようですが、宿題等にして授業時間を…。</p>
<p>評価・改善策</p>	<p>・基礎、基本の定着を図る授業の実践を推進し、分かる授業、できる授業の創造を今後も進め学力の向上を図るためには、課題を明確にし、個に応じた学習指導を進める事が大切である。指導内容・指導方法の工夫、改善と併せて少人数指導やTT指導をさらに充実させ課題解決能力を育成する授業を展開していく必要がある。</p> <p>・数学科、英語科等の学力の向上については、保護者、生徒ともに願っている。学ぶ意欲を高めるための板書や学習資料の工夫については、生徒たちは高く評価している。一方、家庭学習の定期的な取組については、二極化傾向がかがえるので、家庭と協力しながら進めていくことが必要である。</p> <p>・新学習指導要領の移行期を踏まえ、教員の資質向上を図ることをねらいとした、授業研究を全員が実施する。また、問題発見能力、課題解決能力などの「生きる力」を育成するための様々な体験的な活動は方法・内容を工夫し推進していくことが必要である。</p>

豊かな心を育てる(学校生活)

目 標	評価項目	自己評価(学校)				計 (A+B)%	学校関係者評価				計
		A	B	C	D		A	B	C	D	
<ul style="list-style-type: none"> ・所属感、連帯感を育む学級、生徒会、学校行事の実施 ・生徒一人一人にあった支援策の検討 ・奉仕活動、体験・交流活動で思いやりの心を育てる ・生徒の良いところを伸ばし、発信する ・生徒指導、教育相談部会の定期開催 ・進路・キャリア教育の充実 ・道徳教育の充実 	①行事等は、生徒が活躍する場面が多くあった	13	7	0	0	20	54	26	1	0	81
		65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%	32.1%	1.2%	0.0%	98.8%
	②行事等に地域がよく協力してくれた	12	7	0	0	19	487	30	4	0	521
		63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	100.0%	93.5%	5.8%	0.8%	0.0%	99.2%
	③生徒が楽しみにしている行事がたくさんある	7	12	1	0	20	11	64	6	0	81
		35.0%	60.0%	5.0%	0.0%	95.0%	13.6%	79.0%	7.4%	0.0%	92.6%
	④学校生活が楽しく、入間川中学校が好きだと言っている学校生活がたのしく入間川中学校が好きである	1	15	4	0	20	61	8	1	1	71
		5.0%	75.0%	20.0%	0.0%	80.0%	85.9%	11.3%	1.4%	1.4%	97.2%
	⑤学校の決まりを守っている生徒が多い	0	6	14	0	20	5	57	18	1	81
		0.0%	30.0%	70.0%	0.0%	30.0%	6.2%	70.4%	22.2%	1.2%	76.5%
	⑥問題があれば先生方はきちんと注意してくれる	10	9	0	0	19	9	54	16	1	80
		52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	100.0%	11.3%	67.5%	20.0%	1.3%	78.8%
	⑦進路学習の授業時間は役に立っている	8	10	0	0	18	5	62	5	1	73
		44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	100.0%	6.8%	84.9%	6.8%	1.4%	91.8%
	⑧道徳の授業は役に立っている	4	9	2	0	15	6	62	9	0	77
		26.7%	60.0%	13.3%	0.0%	86.7%	7.8%	80.5%	11.7%	0.0%	88.3%
		達成度				86.09%	達成度				93.99%

記述から	<p>・決まり以前のモラルというか常識に欠けている生徒が多い。ルールやマナーが必要なことを学校、家庭、地域で連携しながら指導していくことが大切である。真面目に取り組もうとする気持ちがやや少ない。委員会等を中心によく頑張っていたと思います。規範意識が薄れ、心配である。・スカートの長さについては、生徒手帳に記載されていると注意しやすい。・規範意識の低下、生活態度の崩れ・・・「当たり前を見直そう」をスローガンに生徒会活動を通じてこの点に迫ろうとしたが、だめでした。何が足りないのか、どうすればいいのか、しっかり総括して来年度につなげたい。・学校の決まりを徹底する教員の意識に差がある。違反者に対する指導は他学年の生徒に対してはある程度(時間・関係性)以上は言えない。・「決まりを守ろう!」という意欲は見られない。注意されなければ勝手にやって良いと思っている。・校舎耐震補強工事に併せて、教室内の外側二重窓の改修(鍵の位置を低くする→生徒がよじ登っての鍵の開閉は危険)内側の木製窓のアルミ化。廊下外窓の落下防止用手すりの設置。・決まりについての指導は、小中連携の効果が一番あがる分野だと思うので、何か指導の共通化がはかれれば良いと思うが。・「決まりを守る」ことや、「マナー」への意識が低くなってきているように思います。・校庭の除草作業は夏になってしまうと大変なので、春の芽が出たときにできるだけ生徒にさせる時間を設けた方が良かった。</p>
意見提言	<p>・校内(校舎・正門等)の各入口にセンサーライトを設置する。・夜間の施錠を徹底する。・校内の緑地帯(花壇等)の整備、園芸活動や親子、教師による美化活動を推進して心が和む場づくりを実現する。・放課後、制服姿で近くのスーパーで中学生を見ることが多くなりました。・放課後や夜間に校庭などに出入りしないように近隣の保護者や地域の方々の協力も必要ではないかと思う。また、休日の自転車の乗り方なども安全になされているかも見守ることが大切かと思う。・記述にある「強者への表面的な服従」は、その通りであると実感しています。学校では言えないようですが、家ではそのストレスをはき出します。保護者会では、親も先生も本音で話し合える場にしたいです。・子どもからガラスがよく割れると聞きました。校舎の安全面が気になります。・最近では物騒な事件が多く、中学生とはいえ登下校時が心配になることがあります。学校からの不審者情報は子どもに注意を促すことが出来、大変助かっています。・交通緊急対策が教育委員会から出されたとき、中学生への講話が実施できなかったのは、本校だけでした。また、年1回あった交通安全教室もなくなりました。朝の登校の様子(交通ルールを守っているか、朝練の生徒の服装)を先生方に通学路に出て見ていただきたいと思います。下校時ゲームをしている生徒を見かけました。地域の方からたばこを吸いながら下校している生徒がいると聞きました。目撃しても注意しづらいし、学校にも連絡しづらいようです。校長先生ばかりでなく時々、先生方も登下校している様子をいていただきたいと思います。・いじめなどに関しては、当事者ももちろんだが見て見ぬふりしなくてはならない周りの仲間からも情報や報告を受けやすくする為の体制づくりも必要だと思う。・いじめに対しての学校側の取組が感じられました。参加者が年々減っていく地区懇談会の見直しが必要になってきていると思いました。・問題行動を起こすまでには、生育歴、家庭環境等根深いものが関係していると思うし、それを行動が起きてから対症療法的な対応というのも、なかなか……と思う。一番難しい中学校時代だけでは、限界がありますよね。しかし、現場では、発生した事について対応するので一杯だと思います。本当に大変だとは思いますが頑張っていたきたい。ご苦労様です。・安全については、どの程度のことがなわれているのかがよく分かりません。</p> <p>・いじめについて、外への発信は難しいと思います。しかしながら、噂で結局は保護者の耳に入り、噂でしか情報を得られない中、ひどい話を聞くと胸が痛みます。ただ、多分にデリケートな問題が多いだけにこればかりは保護者もわがままばかり言ってもらえません。・施設設備については、予算の関係もあるので強く言えませんが、ボランティアで何とかなることもありそうだと思います。・いじめは、「やっては行けないこと」ではなく、「絶対にやっては行けないこと」とであると社会は考えているということを教え続けていかないと行けないような気がします。(人を思いやる心を失わないためにも)</p>
評価・改善策	<p>心豊かで楽しい学校生活は、連帯感、所属感を味い、生徒たちの心を磨き「生きる力」を醸成する。そのためには、キャリア教育を中核に据え、生徒の発達段階を踏まえて、一人一人の生徒が活躍できる行事の充実と奉仕活動、ボランティア活動、体験・交流活動等を適切に設定していくことが大切である。このことを通して、自ら進んで働く事の大切さと併せて、特に、他人を思いやる心や互いを認め合う心、協力することの大切さ、正義感、規範意識など道徳教育と連動しながら充実させていくことが求められる。・積極的な生徒指導の推進、一人一人の生徒の支援については、教育相談体制の更なる充実が必要である。道徳教育の充実を図り、心豊かで思いやりのある生徒の育成を目指す。そのためには、生活アンケートによる生徒の実態把握と道徳授業の集中指導を今後も実施していく。社会のルールやマナーについては、生徒会や委員会を中心に改善できるよう指導するとともに家庭との連携を強化していく事が重要である。</p>

安全で安心な学校(教育環境)

目 標	評価項目	自己評価(学校)				計 (A+B)%	学校関係者評価				計
		A	B	C	D		A	B	C	D	
・保護者と連携して、いじめ等の早期発見、早期対応 ・定期的な学校生活アンケート実施 ・状況に応じた、避難訓練、不審者対応 ・定期安全点検、通学路点検 ・交通安全教室、自転車	①学校はいじめ等については素早く取り組んでくれた	7	13	0	0	20	8	58	8	0	74
		35.0%	65.0%	0.0%	0.0%	100.0%	10.8%	78.4%	10.8%	0.0%	89.2%
	②安全を高めるための指導や訓練をした(してくれた)	6	12	2	0	20	6	68	4	0	78
		30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	90.0%	7.7%	87.2%	5.1%	0.0%	94.9%
	③安全確保のための情報を提供した(してくれた)	9	11	1	0	21	13	57	7	0	77
		42.9%	52.4%	4.8%	0.0%	95.2%	16.9%	74.0%	9.1%	0.0%	90.9%
	④施設・設備の安全性は十分確保されている	4	16	1	0	21	2	58	17	1	78
		19.0%	76.2%	4.8%	0.0%	95.2%	2.6%	74.4%	21.8%	1.3%	76.9%
		達成度				95.12%	達成度				87.95%
記述から	<p>・毎日、放課後に教頭、教務の先生が戸締まり兼、施設・設備の点検等もなされ、修繕等があれば担当者が直していた。・教員の意識はあり、素早い取組がありよいと思う。・いじめの対応などは、1人の教員ではなく、複数であたると良いと実感しました。・1年生の弱者へのからかい、冷たさ、そして強者への表面的な服従は根深いものがあると実感。思いやりの心、仲間との連帯を育てていくことを重点に、様々な活動、指導をしていく必要があると思います。・校内の安全については教頭先生指導の元、がんばったが限界(?)があるみたいです。窓ガラスご苦労さまでした。・毎日気をつけて生徒を見ている。・公開週間、保護者会の参加人数が思うように増えない。ぜひ行ってみたいと思うような企画、情報提供の工夫が必要である。</p>										
意見提言	<p>・校内(校舎・正門等)の各入口にセンサーライトを設置する。・夜間の施錠を徹底する。・校内の緑地帯(花壇等)の整備、園芸活動や親子、教師による美化活動を推進して心が和む場づくりを実現する。・放課後、制服姿で近くのスーパーで中学生を見ることが多くなってきました。・放課後や夜間に校庭などに出入りしないように近隣の保護者や地域の方々の協力も必要ではないかと思う。また、休日の自転車の乗り方なども安全になされているかも見守ることが大切かと思う。・記述にある「強者への表面的な服従」は、その通りであると実感しています。学校では言えないようですが、家ではそのストレスをはき出します。保護者会では、親も先生も本音で話し合える場になりたいです。・子どもからガラスがよく割れると聞きました。校舎の安全面が気になります。・最近物騒な事件が多く、中学生とはいえ登下校時が心配になることがあります。学校からの不審者情報は子どもに注意を促すことが出来、大変助かっています。・交通緊急対策が教育委員会から出されたとき、中学生への講話が実施できなかったのは、本校だけでした。また、年1回あった交通安全教室もなくなりました。朝の登校の様子(交通ルールを守っているか、朝練の生徒の服装)を先生方に通学路に出て見ていただきたいと思います。下校時ゲームをしている生徒を見かけました。地域の方からたばこを吸いながら下校している生徒がいると聞きました。目撃しても注意しづらいし、学校にも連絡しづらいようです。校長先生ばかりでなく時々、先生方も登下校している様子を聞いていただきたいと思います。・いじめなどに関しては、当事者ももちろんが見て見ぬふりしなくてはならない周りの仲間からも情報や報告を受けやすくする為の体制づくりも必要だと思う。・いじめに対しての学校側の取組が感じられました。参加者が年々減っていく地区懇談会の見直しが必要になってきていると思いました。</p> <p>・問題行動を起こすまでには、生育歴、家庭環境等根深いものに関係していると思うし、それを行動が起きてから対症療法的な対応というのも、なかなか……と思う。一番難しい中学校時代だけでは、限界がありますよね。しかし、現場では、発生した事について対応するので一杯だと思います。本当に大変だとは思いますが頑張ってください。ご苦労様です。・安全については、どの程度のことかわれているのかがよく分かりません。・いじめについて、外への発信は難しいと思います。しかしながら、噂で結局は保護者の耳に入り、噂でしか情報を得られない中、ひどい話を聞くと胸が痛みます。ただ、多分にデリケートな問題が多いだけにこればかりは保護者もわがままばかり言ってもらえません。・施設設備については、予算の関係もあるので強く言えませんが、ボランティアで何とかなることもありそうだと思います。・いじめは、「やっては行けないこと」ではなく、「絶対にやっては行けないこと」であると社会は考えているということを教え続けていかないと行けないような気がします。(人を思いやる心を失わないためにも)</p>										
評価・改善策	<p>・いじめはどの学校にもあるという認識のもと学校・家庭・地域が一体となり、「いじめをしない、させない、許さない」環境をつくるのが肝要である。これまでも、様々な活動をとおし命の大切さや思いやりの大切さについて指導してきたが今後も、人権の学習の中で差別や偏見があってはならないことの指導等と併せて、学校生活のあらゆる場面で指導を行っていく。また、いじめに関するアンケートの実施とともに、学級指導や個人面談の取組、学校からのたより等で、保護者・地域の方への協力依頼と連携推進、さらに、実態を把握し、迅速な対応と継続的な取組を行う。・今年度は、耐震化工事を実施し、安全確保に努める。また、校舎の老朽化に伴う危険箇所については、今後も市教委と連携し、計画的な解決を図っていく。安全点検については、臨時・随時の安全点検を実施して、潜在的危険箇所の発見に努める。・生徒の安全に係る危機管理能力を育成するため、保護者、地域と連携しながら、今後も粘り強く取り組んでいくことが必要である。・生徒指導部・教育相談部等の組織を生かして、いじめ・暴力・不登校の生徒の根絶を目指していく。そのためにも、定期的な生活アンケートを今後も実施しつつ、さわやか相談員、相談支援員、スクールカウンセラー等との連携を通し、教育相談体制の更なる充実を図っていく。・昨今の社会の状況を踏まえ、校舎内外、地域での安全体制の推進を図る観点から、地区懇談会やPTA、学校応援団との連携を図り、情報の開示と交換を密に行っていく。</p>										

地域との連携の推進(開かれた学校)

目 標	評価項目	自己評価(学校)				計 (A+B)%	学校関係者評価				計
		A	B	C	D		A	B	C	D	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会等で学校目標を分かりやすく説明 ・外部評価の実施 ・月1回以上の各たよりの発行 ・地域の人材の活用 ・学校公開の拡大、情報発信 ・地域資源の活用と連携 ・地域行事に積極的参加 ・学校評議員の定期開催 ・生徒会との意見交換の場の拡大 ・定期的に、学校を公開する 	①学校の教育目標・方針等は分かりやすい	11	8	1	0	20	24	55	2	0	81
		55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	95.0%	29.6%	67.9%	2.5%	0.0%	97.5%
	②外部の人を招いての授業が増えた教育活動に地域の人材を登用できた(授業が増えた)	6	14	0	0	20	8	66	2	1	77
		30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	100.0%	10.4%	85.7%	2.6%	1.3%	96.1%
	③学校、学年、学級、保健だより等で学校生活が分かった	7	9	3	0	19	23	49	8	0	80
		36.8%	47.4%	15.8%	0.0%	84.2%	28.8%	61.3%	10.0%	0.0%	90.0%
	④学校は地域の活動や行事によく協力している	5	13	2	0	20	11	64	5	0	80
		25.0%	65.0%	10.0%	0.0%	90.0%	13.8%	80.0%	6.3%	0.0%	93.8%
	⑤学校評議員会の設置は良いことだ学校評議員会の内容を周知した(知っている)	1	14	5	0	20	6	51	21	0	78
		5.0%	70.0%	25.0%	0.0%	75.0%	7.7%	65.4%	26.9%	0.0%	73.1%
	⑥学校は、生徒・地域の意見・要望等に対応している	7	12	0	0	19	5	71	3	1	80
		36.8%	63.2%	0.0%	0.0%	100.0%	6.3%	88.8%	3.8%	1.3%	95.0%
	⑦学校行事、授業公開などでよく参観できた	2	11	5	1	19	3	54	20	1	78
		10.5%	57.9%	26.3%	5.3%	68.4%	3.8%	69.2%	25.6%	1.3%	73.1%
		達成度				87.59%	達成度				88.45%

<p>記述から</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級通信が出せなかった。 ・SSVCや地域の方の協力を得て、授業を進めていきたいと思う。(家庭科の実習など) ・学校評議員会で話し合われた内容について、保護者にはあまり伝わっていないように感じられた。今後、周知の方法等について改善していきたい。 ・地域との連携をさらに進め、学校と保護者、地域が一体となって生徒の育成をしていきたい。
<p>意見提言</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会で生徒との交流ができるのは楽しみである。できれば生徒会の生徒だけでなく、その他の生徒たちとも交流できると嬉しい。今回の評価を記入して感じたことだが、年3回の評議員会では把握できない内容が多かった。評議員としてもう少し多く関わりを持つ必要性を感じた。 ・地域と生徒が直接に接する機会がさらに多くできることを希望する。・鶺鴒木の地域活動は、様々な行事を企画し実施しており、新企画である月例朝市なども考えています。このような朝市等に中学生のバザーをコラボさせていくなど、地域活動に参加したくなる土壌をつくる必要があります。幼少から楽しい活動に大人とともに参加していれば自然体のまま、生活の中の一行事となるはず。近い将来、地域の子どもの成人を祝ってあげられる町にしたいものです。そのためには、大人が楽しい活動を作り上げて、子どもを巻き込んでいくのが一番です。 ・保護者会との接点がないため、親の思考が分からない。評議員会の回数1回を保護者会に参加はどうか。 ・学校から出されるおたよりを親に見せない事が多く困ります。周りのお母さんからも同様のことを聞きます。家庭でもお便りをきちんと出す指導(工夫)が大切だと思います。 ・年に1回は、クラス担任の先生の授業参観が出来るといいと思います。・もう少し部活動に力をいれ、集団の大切さや個人の可能性を発揮させる場としていくことが重要です。 ・学校行事を通じて、生徒たちのいきいきした姿を見る音が出来てよかったです。 ・地域交流の日の地域の方をお呼びしてのイベントなど、PTAからの要望を快く受け入れていただき感謝している。 ・今年度入間川中でもいろいろな事がありました。近所の人から警察が来ていたがどうなっているのか等、聞かれることが増えた。その説明は難しいとは思いますが、在校生の保護者が事実を知らされず、他校の保護者から知らされたことも多かった。開かれた学校とは何なのかと疑問に思った。 ・子どものクラスでは、学級通信が多く子どもの考え、先生の思いが伝わり、時々感動することもあった。多忙の中、感謝です。
<p>評価・改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保護者、地域が三位一体となって連携協力しながら教育を推進することこそ地域に根づく学校創造の第一歩である。学校は家庭や地域への情報発信基地としての機能を持たなければならない。今後も、定期及び臨時に学校、学年、学級だより等でより有益な情報を発信し、教育活動をさらに理解してもらえる努力をしなければならない。 ・地区懇談会は、参加の方法や計画を工夫し、地域の声を聞き、教育活動の方向性や理解を得る良い機会とする。また、参加した方の意見等を十分教育活動に生かすことが重要である。 ・語る会も学校づくりの面で大切な場である。その内容を教職員も生徒もいかに全体に知らしめるかが課題である。 ・学校応援団推進事業に参加し、既存のSSVCの活用、親父の会等との関係機関との連携を図りながら、学校と保護者、地域が一体となって生徒を育成していく。今後も学校だよりやホームページにおいて、学校をPRするなどの活動を推進していく。学校評議員会議の内容について、全生徒や保護者に周知しているが、より興味関心を示すような報告やPR活動をしていく。 ・これまでも取り組んできたことだが、地域との連携をさらに推進するため、地域の人材を掘り起こし、行事等に外部指導者として招くなど学校の教師・生徒が地域に向く活動を進めていく。

学びの継続性の推進(小中連携)

目 標	評価項目	自己評価(学校)				計 (A+B)%	学校関係者評価				計
		A	B	C	D		A	B	C	D	
・教職員間の共同実践 (合同研修会、交流授 業、授業参観) ・教職員間の合同研修 会、授業参観の実施 ・英語教育特区に関する 研究 ・学校行事、特別活 動、クラブ活動の交流 をとおした学びの継続 を図る ・体験入学の実施 ・不登校、生徒指導上 の情報交換	①合同研修は、児童・生徒指導上、役 に立った	3	16	1	0	20	/	/	/	/	/
		15.0%	80.0%	5.0%	0.0%	95.0%					
	②授業公開、参観、合同研修を通し て、学びの継続性につながった	3	16	2	0	21	1	65	5	0	71
		14.3%	76.2%	9.5%	0.0%	90.5%	1.4%	91.5%	7.0%	0.0%	93.0%
	③ 小中教師間等連携が深まった	1	18	2	0	21	2	62	6	0	70
		4.8%	85.7%	9.5%	0.0%	90.5%	2.9%	88.6%	8.6%	0.0%	91.4%
	④今後とも小中連携は継続する必要が ある	7	12	2	0	21	35	44	1	0	80
		33.3%	57.1%	9.5%	0.0%	90.5%	43.8%	55.0%	1.3%	0.0%	98.8%
		達成度				91.57%	達成度				94.57%
記 述 か ら	・多忙の感があった。もう少しゆとりをもって取り組めないか。英語教師は2人しかいなくて、てんてこ舞いなのに、今年のような小中連携授業は余りにもハード。 ・もう1人、英語教師を増やしていただきたい。それこそ英語特区なのだから。 ・英語の小中連携学習では、掲示資料を美術部で制作した。(多いに喜ばれた。) ・一部の教科の連携で終わっているので、全教科に及ぶように工夫したい。 ・来校者を増やすには・・・難しいです。 ・小学校で身につけなければならない「授業を静かに聞く姿勢、整理整頓」など、不十分な部分を小学校に提言していきべきだと思う。										
意 見 提 言	・大変良いことだと考えます。・21年度のPTA活動に、小中連携を推進していく方向性を明確にしていきます。具体的には、行事の合同開催(夏休み親子除草、バーベキュー大会)「狭山っ子教育の日」のエコ活動、防犯パトロール、定期情報交換会の開催など、また、入間川七夕飾りの合同制作(親父の会)や模擬店出店など実施予定です。・我が家には、小・中学生の子供がいるが、家庭でも共通の会話が増え、交流行事はよいと思った。・小学校にとっては、中学校への不安感の軽減に少しつながるのではないかと思います。・小中連携は大切だと思います。学校行事は小、中が重ならないように配慮願います。・”中一ギャップ”その芽は、小学校高学年から始まっているのも事実で、連携の大切さはよく分かる。・・・が、実際先生方の多忙さは、どうしようもなく人材を増やすことが一番かと・・・、けれども予算もあるでしょうし……。・お忙しいとは思いますが、続けていかれることを強く望みます。										
評 価 ・ 改 善 策	・学びの継続性を推進するためには、9年間を見通した小中の継続した連携が必要不可欠である。小中相互の交流授業、授業参観、合同研修会等を中核に据えた連携の強化が学習指導の工夫改善につながり、学びの継続性を推進することになる。 ・小中連携を推進するために、今後も、相互交流を進めるとともに、幼保小中の連携を深めることも大切である。 小中連携教育モデル地区事業を踏まえ、英語活動・部活動・吹奏楽・教員の合同研修会などあらゆる機会に連携を図る事ができた。今後もより深い連携を図りながら、9年間の義務教育というスパンで子どもたちを育成していく。										